

平成 28 年9月7日

持続可能な開発目標(SDGs)推進本部事務局御中

(社)グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン代表理事
国連グローバル・コンパクト・ボードメンバー

有馬利男

SDGs 実施指針案に関する意見・期待

この度は、持続可能な開発目標 (SDGs) 推進円卓会議の委員にご指名いただき、まことにありがとうございます。グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン (GCNJ) の代表として、SDGs 推進に尽力致す所存です。

お送りいただいた SDGs 実施指針案につき、極めて短時間ではありましたが、GCNJ の関係者で検討した結果、以下の意見・期待をインプット致します。貴関係省庁課長級会合のご参考としていただければ幸いです。

[SDGs 指針案への GCNJ からの意見・期待]

- 1、付票(具体的施策)に示されている、グループ全体と各グループ、そしてグループ内個別施策の進捗を計り、省庁間の横断的協業を促進するために、KPIを設定すること。その上で、グローバルな SDGs の Index との繋がりも明確にしてゆくべきと考える。
- 2、グループごとに企業が具体的に取り組みを検討できるような場を設定すること。推進する側の省庁と実行する側の企業が本腰を入れて協業し、変革を起こし、取り組みを実のあるものにするメカニズムが必要と考える。
- 3、今回示された具体的施策は、各省庁で現在進行中のものを中心に作成されているように見える。例えば、ESG 投資や、ビジネスと人権に関する推進施策なども必要と思われるが、民間の知見を巻き込んで、SDGs169項目の実現に必要な施策を洗い出し、優先順位などを検討すべきと考える。
- 4、SDGs の認知や実行に対する国レベルのインセンティブが少ないように感じる。政府主導、あるいは政府と国連グローバルコンパクトなどとの連携で、普及・啓発のための推進策を設けてはどうか。例えば、SDGs アワードや東京オリンピックとの関係での推進策など、これも民間を巻き込んで検討することにより効果的な知恵が出てくるのではないかと考える。

以上